



証券のための金融、証券による金融

平成22年9月期

第97期中間報告書

平成22年4月1日～平成22年9月30日

大証金

会社のプロフィール

◎証券市場に良質・低利な資金を安定的に提供することが使命

◎大阪証券取引所の指定証券金融会社として、金融商品取引法上の免許業務である貸借取引業務(制度信用取引の決済に必要な金銭または株券を証券会社に貸し付ける業務)を担う

◎貸借取引業務のほか、一般信用取引向け貸付業務、証券担保ローン業務、有価証券貸借業務等を通して証券市場の機能発揮をバックアップ

◎大証(昭和25年)、東証(平成12年)に株式を上場

◎役職員数は約90名、営業拠点は大阪本店・東京支社

◎格付け

長期格付け シングルAマイナス A- [R&I(格付投資情報センター)]

シングルAマイナス A- [JCR(日本格付研究所)]

短期格付け エイワン a-1 [R&I]

ジェイワン J-1 [JCR]

(平成22年9月末現在)

株主のみなさまへ

ごあいさつ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに、当社平成22年度(第97期)中間報告書をお届けさせていただきましたので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

さて、当社の平成22年度中間期(平成22年4月1日から平成22年9月30日)決算におきましては、証券市場の低迷に加え、経営改善の一環としてリスク管理徹底の観点からの運用資産の見直しを行いましたこと等から、営業収益は減収、経常損益は赤字計上となりました。

一方で、最終損益はリーマン・ブラザーズ証券株式会社からの弁済金受け入れにより大幅増益となりましたが、自己資本の着実な回復が緊要であること、また証券市場の先行きにはなお不透明な面が残ること等に鑑み、誠に遺憾ではございますが、引続き中間配当につきましては見送らせていただきました。

なお、期末配当につきましては、1株3円を予定いたしておりますが、今後、早期に1株年6円の安定配当への復配を実現できる収益体質を構築すべく、今後ともあらゆる経営努力を重ねてまいり所存でございますので、株主の皆様には何とぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

当社は、大阪証券取引所が本年10月12日に新たに開設いたしました国内最大の新興市場であります「新JASDAQ市場」の唯一の指定証券金融会社として、大阪証券取引所からの指定を受け、同市場の貸借取引業務を開始しております。今後、貸借銘柄のさらなる拡大や株券調達力の強化に積極的に取り組み、大阪証券取引所との連携のもと、大証1部2部市場とあわせ、新市場の振興に努めてまいりたいと考えております。

株主の皆様には引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



取締役社長
堀田 隆夫

決算報告

資金運用残高の減少から営業収益は減収 経常損益は赤字となったものの、純利益は特別利益の計上から大幅黒字

【営業収益】16億円(前年同期 25億円)

●証券市場の低迷に加え、リスク管理の観点からの運用資産内容の見直しの徹底等から貸借取引、証券担保ローン中心に資金運用残高が減少。利鞘も縮小。

【経常損益】▲211百万円(前年同期 170百万円の経常利益)

●利鞘収入の減収に加え、担保株式時価下落による貸倒引当金繰入増を主因に一般管理費が増加。

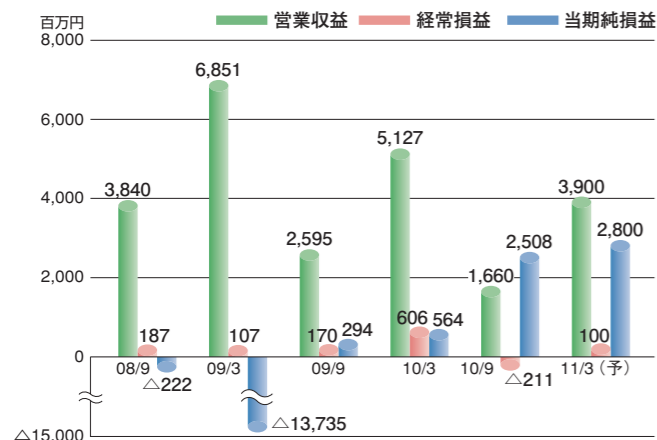
【純利益】2,508百万円(前年同期 294百万円の純利益)

●リーマン・ブラザーズ証券株式会社に対する再生債権にかかる弁済額(2,665百万円)を特別利益に計上したことにより大幅黒字

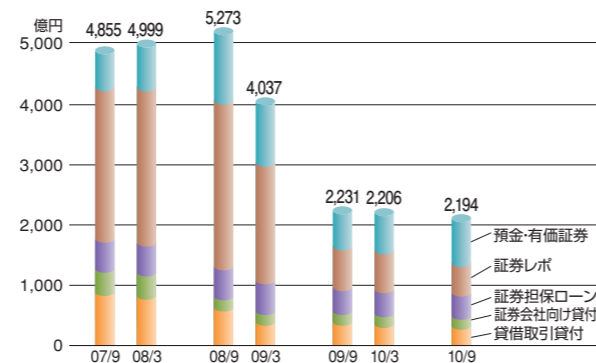
[参考]リーマン・ブラザーズ証券株式会社(LB証券)との取引清算状況

- 平成22年9月28日付で、LB証券が東京地方裁判所に提出しておりました再生計画の認可決定が確定。
- 再生計画に基づく当社への第1回弁済額として確定した2,665百万円を特別利益に計上。
- なお、今後予定されております1年毎の中間弁済およびすべての権利関係確定後の最終弁済につきましては、現時点ではその弁済額等が明らかでないため、決算には計上していません。

●営業収益、経常損益、当期純損益

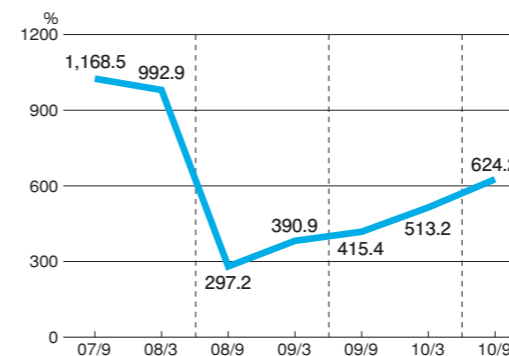


●資金運用の内訳(平均残高)

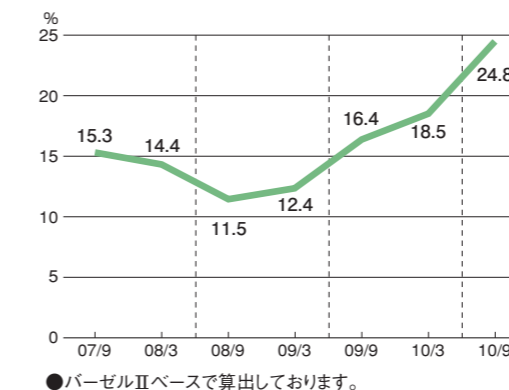


●自己資本比率

(1)証券会社ベース(金融商品取引法基準)



(2)銀行ベース(銀行法基準)



■損益計算書

損益計算書	前年同期	当第2四半期累計期間
科目		百万円
営業収益	2,595	1,660
貸付金利息	1,512	1,183
有価証券貸付料	574	160
その他の営業収益	508	315
営業費用	1,258	618
支払利息	433	276
有価証券借入料	582	159
その他の営業費用	243	182
一般管理費	1,301	1,371
営業利益または営業損失(△)	35	△330
営業外収益	143	127
受取利息および配当金	98	89
その他の営業外収益	44	37
営業外費用	8	8
経常利益または経常損失(△)	170	△211
特別利益	168	2,744
有形固定資産売却益	5	4
償却債権取立益	—	2,739
貸倒引当金戻入	163	—
特別損失	22	6
税引前四半期純利益	317	2,527
法人税、住民税および事業税	4	2
法人税等調整額	18	16
四半期純利益	294	2,508

貸借対照表

資産の部	前期末	当第2四半期末
科目	百万円	
流動資産	251,499	178,324
現金・預金	3,109	2,143
有価証券	28,495	9,997
貸付金	77,472	65,614
借入有価証券代り金	138,447	85,921
その他の流動資産	6,321	17,136
貸倒引当金	△ 2,348	△ 2,489
固定資産	42,167	42,483
有形固定資産	468	423
建物	83	77
その他の有形固定資産	384	345
無形固定資産	945	839
ソフトウェア	941	834
その他の無形固定資産	4	4
投資その他の資産	40,752	41,221
投資有価証券	40,435	40,799
その他の投資	503	615
貸倒引当金	△ 186	△ 194
資産合計	293,666	220,808

負債の部	前期末	当第2四半期末
科目	百万円	
流動負債	265,148	190,948
コールマネー	12,200	17,900
短期借入金	213,800	150,700
コマーシャル・ペーパー	1,000	—
貸付有価証券代り金	27,360	16,863
その他の流動負債	10,787	5,485
固定負債	13,135	12,802
長期借入金	12,100	12,075
退職給付引当金	308	355
役員退職慰労引当金	210	129
その他の固定負債	517	242
負債合計	278,284	203,750
純資産の部		
株主資本	14,556	16,744
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	3,229	3,229
利益剰余金	6,458	8,646
自己株式	△ 131	△ 131
評価・換算差額等	825	312
純資産合計	15,382	17,057
負債・純資産合計	293,666	220,808

《今後の取組み》

中期経営計画（平成22～24年度）（平成22年4月30日公表）

●基本認識

貸借取引業務の担い手として、新JASDAQ市場の指定証券金融会社に選定されたことに伴い、貸借銘柄の拡大を図り、同市場の振興に努めるとともに、東京支社の機能強化その他の経営基盤強化策を着実に推進し、企業価値の向上に邁進する。

- 「証券のための金融、証券による金融」を創業時以来の社会的使命として再認識し、貸借取引業務を核として証券市場の発展に貢献する。
- お客様の視点に立ち、質の高いサービスを提供し、顧客基盤の拡充強化を図る。
- リスク管理およびコンプライアンス体制の徹底を重要課題と認識し、PDCAサイクルを継続して実践する。
- 営業基盤の強化、合理化の徹底により、収益力の強化、自己資本の回復を着実に図る。

●経営目標

- 創業以来の経常黒字を維持し、平成24年度までに経常利益13億円を達成する。
- 優先株配当を堅持すると同時に、普通株についても早期に1株当たり年6円配当に復配し、安定配当の実施に努める。
- 財務内容の健全性の維持、向上に努め、安定的な企業経営に必要な水準を確保する。

平成22年度見通し（平成22年11月4日 通期業績見直し修正）

	(百万円)	[平成21年度実績]
営業収益	3,900	(5,127)
経常利益	100	(606)
当期純利益	2,800	(564)

株式について

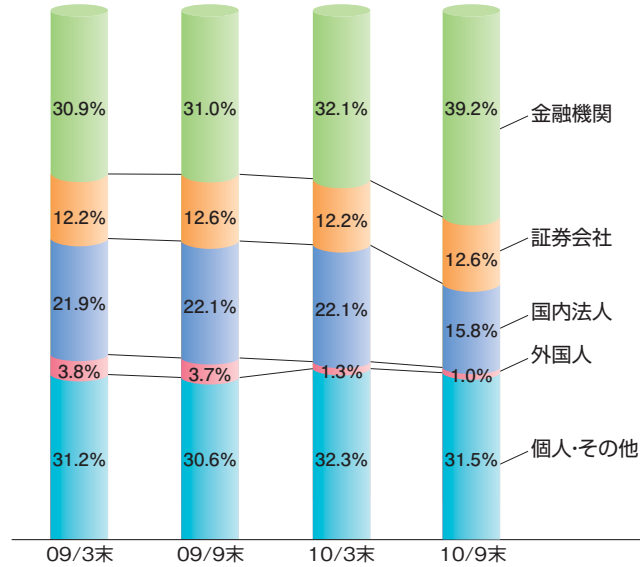
株式の状況〔普通株式〕（平成22年9月末現在）

- 1. 会社が発行する株式の総数…………… 9,450万株
- 2. 発行済株式の総数…………… 3,700万株
- 3. 株主数…………… 9,028名
- 4. 大株主

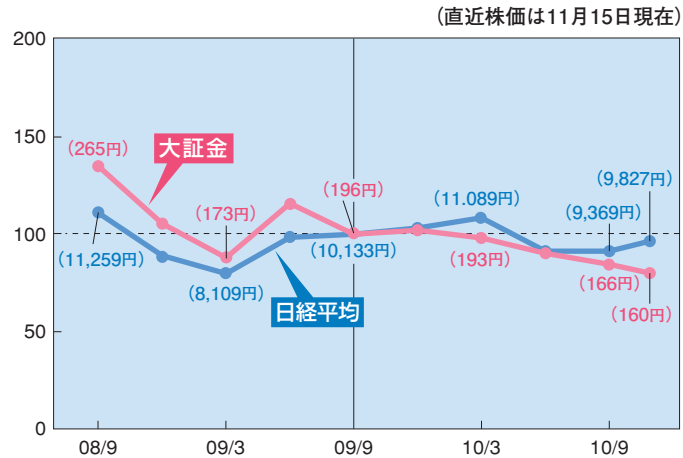
株主名	持株数	持株比率
株式会社だいご証券ビジネス	429.9 万株	11.6 %
日本トラステイサービス信託銀行株式会社(信託口)	413.8	11.1
野村ホールディングス株式会社	200.0	5.4
株式会社みずほコーポレート銀行	166.6	4.5
株式会社三菱東京UFJ銀行	166.6	4.5
株式会社りそな銀行	166.6	4.5
株式会社三井住友銀行	166.5	4.5
財団法人資本市場振興財団	84.3	2.2
株式会社新生銀行	81.9	2.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	61.1	1.6

(注)この他、平成22年9月末現在 優先株式1,500万株を発行しております。

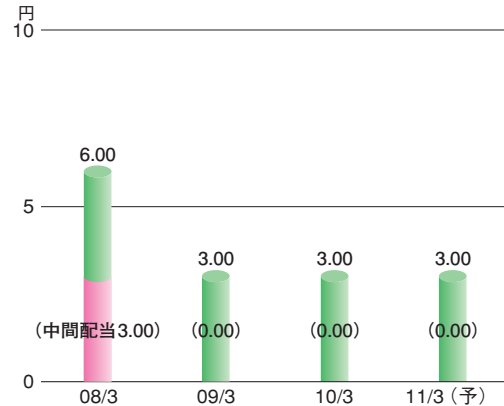
株式の所有者別分布〔普通株式〕



株価推移（2009年9月末=100、株価は終値ベース）



配当金の推移〔普通株式〕



会社概要

設立／昭和8年9月18日
 資本金／50億円
 代表者／取締役社長 堀田隆夫
 従業員数／78名(派遣社員を含む)
 株式上場／大阪証券取引所市場第1部
 東京証券取引所市場第1部

取締役および監査役（平成22年9月30日現在）

- ※取締役社長 堀田 隆 夫
- ※専務取締役 虎 竹 洋 文
- 常務取締役 西 井 生 和
- 取締役 西 山 剛
- 取締役 源 太 忠 彦
- 社外取締役 沖 津 嘉 昭
- 社外取締役 神 崎 健 一
- 社外取締役 栗 山 勤
- 社外取締役 佐々木 茂 夫
- 常勤監査役 伊 藤 俊 示
- 社外監査役 和 田 英 夫
- 社外監査役 山 下 公 央

(注)※は代表取締役であります。

事業所

本店／〒541-0041 大阪市中央区北浜二丁目4番6号
 TEL06-6233-4510 FAX06-6233-4514
 東京支社／〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目15番3号
 TEL03-5299-6311 FAX03-5299-6317



東京支社



本店

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会・期末配当金……………3月31日
中間配当金……………9月30日
そのほか、必要ある場合は、あらかじめ公告
して臨時に基準日を定めることがあります。

公告方法 電子公告により当社ホームページ
(<http://www.osf.co.jp/>)に掲載いたします。
なお、やむを得ない事由により電子公告
によることができない場合は、産業経済新聞
に掲載いたします。

上場証券取引所 東京、大阪

証券コード 8512

当社の株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関である株式
会社だいがう証券ビジネスは、平成23年1月1日をもって、会社分割に
より三菱UFJ信託銀行株式会社へ証券代行業務を移管いたします。

つきましては、株式に関する各種お問い合わせ先等が以下のと
おり変更となります。

平成22年12月30日まで

株主名簿管理人 株式会社だいがう証券ビジネス
特別口座の口座管理機関

各種お問合せ 〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号
〔郵便物送付先〕 株式会社だいがう証券ビジネス
証券代行事務センター

〔株式事務に関するご照会〕 0120-255-100 (通話料無料)

〔特別口座に関するご照会〕 0120-351-465 (通話料無料)
受付時間 9:00～17:00 (土、日、祝祭日を除く)

平成23年1月4日以降

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

各種お問合せ 〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号
〔郵便物送付先〕 三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部

〔各種事務に関するご照会〕 0120-255-100 (通話料無料)
受付時間 9:00～17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)


株主優待のご案内

毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された株主様に
対し、次のとおり贈呈いたします。

ご所有株式数	ご優待品
500株以上1,000株未満	「クオカード」1,000円券1枚
1,000株以上	「クオカード」2,000円券1枚

ニーズ! スピード! チャレンジ!



 **大阪証券金融株式会社**

〒541-0041 大阪市中央区北浜二丁目4番6号
TEL06-6233-4510 FAX06-6233-4514

URL <http://www.osf.co.jp/>

